

## リレー隨筆

## 縦の成長、横の成長

鹿児島医療センター

増田 愛子

はじめて。白石ゆり先生からリレー隨筆のバトンを受け取りました、初期研修医2年目の増田愛子です。初期研修医として国立病院機構鹿児島医療センターに所属しております。研修医生活も振り返るとあつという間の1年半で、これから的人生を決める重要な岐路に立っており自分の将来と向き合う日々です。

目下私の頭を悩ませることは2つあります。ひとつは自分の進むべき診療科についてです。自分の人生が動く大きなターニングポイントになるのだろうなと思いながらも、これまで研修させていただいたどの診療科にもそれぞれに奥深さや面白さを感じなかなか決め切らずにいるというのが正直なところです。迫り来るタイムリミットをひしひしと感じますが、じっくりと悩み後悔のない選択ができればと思っています。

そしてわたしの頭を悩ませているもう1つのことですが…最近有難いことに日々の仕事でも私生活でもなにかと忙しく、落ち着いて自宅でゆっくり過ごす時間がなかなか取れません。徐々に世間の風向きも少しずつですが変わり始め、それに伴い友達と以前のように飲みに行く機会も増えました。日々蓄積されていく小さなストレスは私の場合飲食へと跳ね返ります。小さい頃からおかげがなくてもお米だけで食べてしまうほどのお米好きの私ですが、ある時お腹が空いて我慢ができず明日のお弁当の分までと少し多めに炊いたお米を気がつくと夕飯に全部平らげてしまったなんてことも。また学生時代はそれほど美味しいと思えなかったビールが、どうしてでしょう、

こんなに美味しいと思える日が来ようとは！1人で家で飲むことも好きですが、友達と楽しく飲むお酒は日々の疲れを癒す大切な時間です。

食べたいものを食べる気持ちはどうしようもない、それなら運動をしようと思ははするのですがなかなか平日家に帰り一度ソファに腰を下ろすと、お尻に根っこが生えてしまい立ち上がることすらままなりません。そのまま気がつくとこんな時間と慌てて家の仕事を片付け身支度を整え気がつけば眠りに落ちている…。学生時代から続けていたゴルフも最近はめっきり行く回数も減り、せめてもと思い続けていた自転車通勤も今日は雨だし、暑いしとなにかと言ひ訳して最近はご無沙汰です。ここまで書きながら自分を振り返り、情けない気持ちでいっぱいですが、とにかく結果、私は「横へ」と着実に成長を続けています。

しかし最近「横への成長」は決して悪いものではなく、むしろ必要なことだと感じます（前述した体重の話ではありません、涙）。なぜなら自分自身も含めて現在の競争社会に生きる多くの人が「縦への成長」のみを目指しているからです。どれだけ成果を出すことができたか、スキルを身に付けたか、周りと比べてできることが増えたか等々。右肩上がりの成長を最良とし、強さや立派さ、経験値、それらを上へ高めていくことを重視しています。もちろんそれは決して悪いことではありません。高い目標を持ちチャレンジすることは素晴らしいことですし、それによって得られる成果もあります。ですが成長はそれだけではあ

りません。

自分自身もそうですが、残念ながら人はそう簡単に向上していくものではありません。人間として急激に能力が向上したり、問題が解決したりする訳でもありません。昨日できなかったことが今日できるようになってしまっても、時間を置いてやってみようとするとできなくなってしまったり。トライアンドエラーを繰り返してできることを増やしていく過程はエスカレーターのような右肩上がりのようにはいかず、何度も踊り場で立ち止まりながら進む螺旋階段のようです。

福祉の父と呼ばれた故・糸賀一雄氏は、「縦の発達、横の発達」という言葉を残しています。「横の発達」は能力が上へと伸びることではなく、横へと広がることを「発達」として捉えるという考え方です。発達段階や能力が同じままでも、同じ能力を発揮できる場面や関係が広がること、あるいは発達段階の高次化が困難な重度障害児の「発達の無限の可能性」を示す概念と言われています。これは重度障害児だけに限らず、成果主義の現代社会に生きる多くの人にとて重要な視点ではないでしょうか。

これまで生きてきた二十数年で少しは自分も縦軸で成長できているかな、できていたらいいなと思いますが、それ以上に成長したと自信を持って言えること、それが「横への成長」です。私にとって「横への成長」は周囲の人との関係の広がりや、考え方や手段のバリエーションが増えたことです。鹿児島に来て今年で15年になりますが、信頼できる友達や尊敬できる先輩も沢山できました。色々な人との触れ合いの中で考え方や価値観の違いに戸惑うこともありましたが、それも含めてそれらの多くの出会いは今なものにも変え難い財産だと思うのです。また、結果は同じでもその結果に向かう道筋を沢山知っているということも

成果を上げる以上に価値のあることだと気がつきました。

そんな訳で私は今日も横へと成長することができました。仕事の場で、仕事以外の場でたくさんの人にお会い様々な考えを知りました。なかなか縦には伸びていかない自分が確実に身も心も横へと成長しています。梅雨も明けた7月、日々暑さが募ります。自分の横への成長を内省し、まずは中断していた自転車通勤を再開させてみようかと思います。

---

次号は、鹿児島医療センター／中村崇仁先生のご執筆です。  
(編集委員会)